

栃木県芳賀地区 令和5年度芳賀地区特別支援教育研修会

インクルーシブ教育システムの構築 と合理的配慮

インクルDB



独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

インクルーシブ教育システム推進センター

国際・情報発信担当

土屋 忠之

<http://inclusive.nise.go.jp/>



研修会の流れ(予定)

1. インクルーシブ教育システムと合理的配慮について
2. 適応面や行動面に困難を抱えている児童・生徒への支援について
3. インクルDBについて

1. インクルーシブ教育システム と合理的配慮

共生社会

「共生社会」とは、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会である。

それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える**全員参加型の社会**である。

このような社会を目指すことは、我が国において最も積極的に取り組むべき重要な課題である。

インクルーシブ教育システム

障害のある子供と障害のない子供が可能な限り同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、障害のある子供の自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できるよう、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要である。

* 新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議 報告

(令和3年1月4日 文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課) より

インクルーシブ教育システム(合理的配慮について)

- (a) 障害者が障害に基づいて**一般的な教育制度**から排除されないこと及び障害のある児童が障害に基づいて無償の**かつ義務的な初等教育**から又は**中等教育**から排除されないこと。
- (b) 障害者が、他の者との平等を基礎として、自己の生活する**地域社会**において、障害者を包容し、質が高く、かつ、無償の**初等教育**を享受することができること及び**中等教育**を享受することができること。
- (c) 個人に必要とされる**合理的配慮**が提供されること。

* 障害者の権利に関する条約 第24条より

基礎的環境整備及び合理的配慮

○合理的配慮

- ・障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適切な変更・調整を行うこと
- ・障害のある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に個別に必要なもの
- ・学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は、過度の負担を課さないもの

○基礎的環境整備

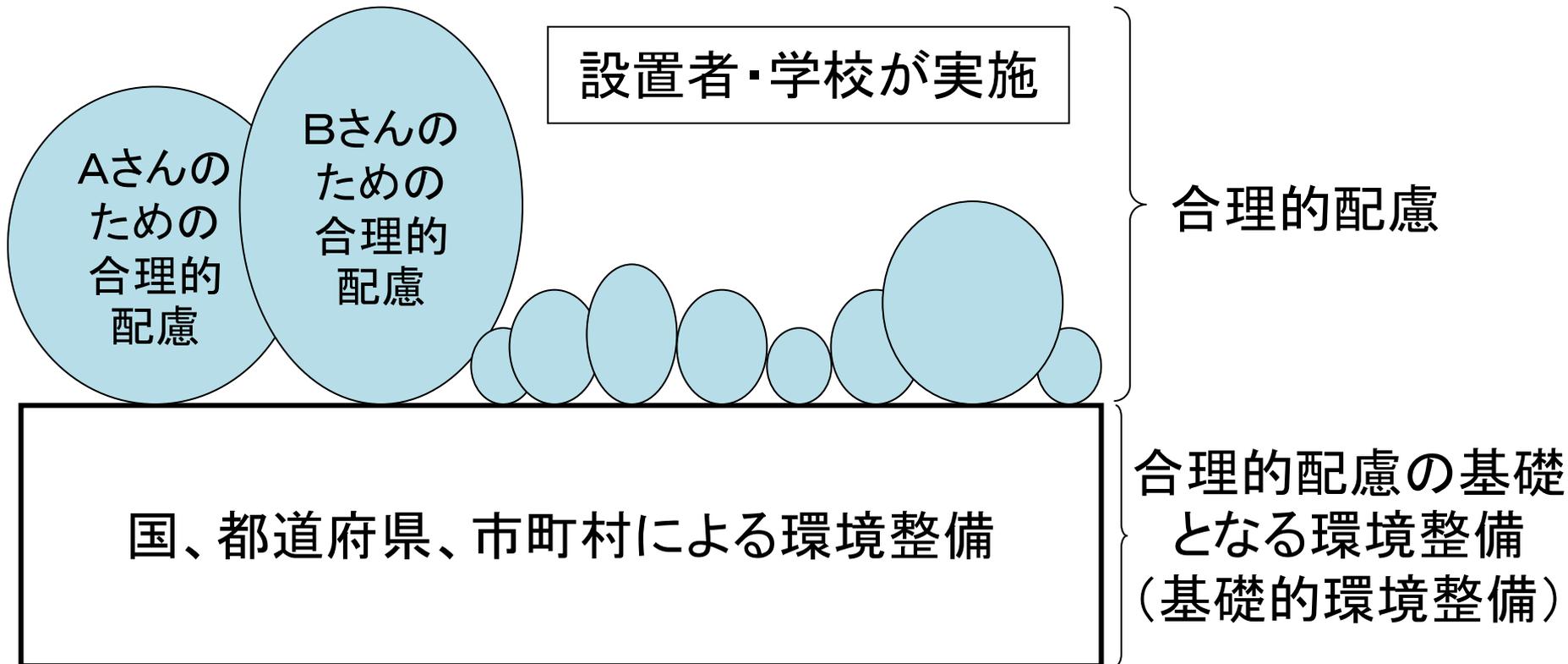
障害のある子どもの支援については、法令に基づき又は財政措置により、国は全国規模で、都道府県は各都道府県内で、市町村は各市町村で、教育環境の整備を行う。これらは、「合理的配慮」の基礎となる環境整備であり、それを「基礎的環境整備」と呼ぶ。

* 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)

(平成24年7月23日 中央教育審議会初等中等教育分科会) より



(3) 合理的配慮及び基礎的環境整備 の関係



* 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)

(平成24年7月23日 中央教育審議会初等中等教育分科会) より

合理的配慮の観点①

- ①-1-1: 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮
- ①-1-2: 学習内容の変更・調整
- ①-2-1: 情報・コミュニケーション及び教材の配慮
- ①-2-2: 学習機会や体験の確保
- ①-2-3: 心理面・健康面の配慮

* 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)

(平成24年7月23日 中央教育審議会初等中等教育分科会) より

合理的配慮の観点②、③

- ②-1: 専門性のある指導体制の整備
- ②-2: 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮
- ②-3: 災害時等の支援体制の整備
- ③-1: 校内環境のバリアフリー化
- ③-2: 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮
- ③-3: 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮

* 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)

小中学校の通常の学級における障害のある 児童生徒の教科指導上の配慮

小学校学習指導要領解説各教科編（平成29年告示）

- 通常の学級においても、発達障害を含む障害のある児童が在籍している可能性があることを前提に、全ての教科等において、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や支援ができるよう、障害種別の指導の工夫のみならず、各教科等の学びの過程において考えられる困難さに対する指導の工夫の意図、手立てを明確にすることが重要である。
- 個々の児童によって、見えにくさ、聞こえにくさ、道具の操作の困難さ、移動上の制約、健康面や安全面で
の制約、発音のしにくさ、心理的な不安定、人間関係
形成の困難さ、読み書きや計算等の困難さ、注意の集
中を持続することが苦手であることなど、学習活動を行
う場合に生じる困難さが異なることに留意し、個々の
児童の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫す
ることを、各教科等において示している。

学習障害による困難さへの合理的配慮の例

【実態】 読み書きが苦手で、特に板書が難しい。

- 板書計画を印刷して配布
- デジタルカメラ等による板書撮影
- ICレコーダー等による授業中の教員の説明等の録音

求められる資質・専門性

- 全ての教師には、障害の特性等に関する理解と指導方法を工夫できる力や、個別の教育支援計画・個別の指導計画などの特別支援教育に関する基礎的な知識、**合理的配慮**に対する理解等が必要である。
- 障害による学習上又は生活上の困難について本人の立場に立って捉え、それに対する必要な支援の内容を一緒に考え、本人自ら**合理的配慮**を意思表示できるように促していくような経験や態度の育成が求められる。
- こうした経験や態度を、多様な教育的ニーズのある子供がいることを前提とした学級経営・授業づくりに生かしていくことが必要である。

* 新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議 報告
(令和3年1月文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課) より

2. 適応面や行動面に困難を抱えている児童・生徒への支援について

(2) このような児童生徒にどのような合理的配慮ができるのでしょうか？

注意欠陥多動性障害の診断を受けている中学校の通常の学級に在籍する2年生である。

こだわりが強く、行動面の切り替えが難しいという実態が見られ、テストも順番通りに解かないと気が済まないところがある。

英単語を書き取ることや文章を読み取ることが難しく、数学の証明問題等の論理的に考えることが苦手で消極的になることが多い。一斉での指示は伝わりにくく、個別の言葉掛けが必要である。

自分のペースで物事を進めるため、他の生徒とトラブルになりがちである。宿題等の未提出も目立ち、注意を受けると身体の不調を訴える等の様子が見られる。



(3) 学級に在籍している児童生徒の合理的配慮について考える際に参考にする

この児童生徒が抱える課題を整理してみましょう。次にその課題に対してどのような配慮ができるか検討してみましょう。

<児童生徒の抱える困難さ>

・学習面では……

・生活面では……

・その他では……

<考えられる合理的配慮>

・学習面では……

・生活面では……

・その他では……

(3) 演習シート (Webに掲載)

演習シート 資料 A-3

困難さの状況
(事例の抱える困難)

児童生徒が抱える困難さを記入する

合理的配慮の実際
(観点と取組の内容)

合理的配慮を記入する

学校における『合理的配慮』の観点【3観点11項目】

- ①教育内容・方法
 - ①-1教育内容
 - ①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮
 - ①-1-2 学習内容の変更・調整
 - ①-2教育方法
 - ①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮
 - ①-2-2 学習機会や体験の確保
 - ①-2-3 心理面・健康面の配慮
- ②支援体制
 - ②-1 専門性のある指導体制の整備
 - ②-2 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮
 - ②-3 災害時等の支援体制の整備
- ③施設・設備
 - ③-1 校内環境のバリアフリー化
 - ③-2 発達・障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮
 - ③-3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮

まとめと感想

(4) 記入した内容を持ち寄って話し合いましょ

個人で記入した内容を持ち寄って、学年や関係する教職員で話し合いましょ。



記入した内容について、全員が発言できるように配慮して、様々な視点から検討できるように配慮することが大切です

3. インクルDBについて

(1) インクルDB (インクルーシブ教育システム構築データベース) について

- ・ 教育関係者や一般国民に向けたインクルーシブ教育システム構築に関する理解啓発のため、関連する情報を提供
- ・ 「実践事例データベース」では、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて参考となる事例を掲載。

The screenshot shows the homepage of the Inclusive DB website. At the top, there is a header with the title 'インクルDB (インクルーシブ教育システム構築支援データベース)' and the NISE logo. Below the header is a search bar with the text '検索はキーワードを入力してください。'. A navigation menu contains several tabs: '実践事例データベース', '法令・通知等', 'Q&A', '研究報告・リンク', '交流及び共同学習実践事例集', and 'インクルDBを活用した研修例'. The main content area features a section titled 'インクルDBについて' with introductory text and links to '合理的配慮実践事例データベース', '相談コーナー', and '関連情報'. An illustration of a globe, a smartphone, and a chalkboard with 'Study' written on it is also present.

インクルDB 

<https://inclusive.nise.go.jp/>



(2) インクルDBのWebサイトについて

「実践事例データ多ベース」では、590件の実践事例を公開しており、実践事例毎に資料をダウンロードできる

「インクルDBを活用した研修例」では、研修のプログラム例や研修にて活用できる資料等を掲載している

「合理的配慮」実践事例データベース

▶ 実践事例データベース

実践事例データを 29件 追加しました。

<実践事例データ 計 559件 公開> (R3.3.31)

[【事例を閲覧・活用される際の留意事項】](#)

[【インクルDBリーフレット\(カラー印刷 | 白黒印刷\)】](#)

▶ インクルDBを活用した研修例

インクルDBを活用した研修等を掲載しています。
ご参考になさってください。

▶ 交流及び共同学習実践事例集

心のバリアフリー学習推進会議の提言に基づき、交流及び共同学習についての事例を掲載しています。

▶ 相談コーナー

インクルーシブ教育システム構築の相談はこちらから
※教育委員会、各学校からの相談を受け付けております。

関連情報

▶ 法令・通知・用語等

法令・施策や関連用語の解説など

▶ Q&A

インクルーシブ教育システム構築に関する保護者向けのQ&Aを設けました

▶ 研究報告・リンク

就学に関する情報、教材に関する情報など

▶ 教育相談に関する情報

教育相談に関する情報など

学校における遠隔授業や動画配信 新型コロナウイルス感染症予防の取組

特別支援学校における遠隔授業や新型コロナウイルス感染症対策の取組例等を掲載しています。



(5) インクルDBの活用例

- 学級に在籍している児童生徒の合理的配慮について考える際に参考にする
- ケース会議等で、児童生徒の特性に応じた合理的配慮を検討する際に活用する
- 学校や教育委員会にて児童生徒の特性に応じた合理的配慮に関する教職員の研修に活用する

2. 「インクルDB」を活用して 学校等にて合理的配慮を検 討する

(1) インクルDB (インクルーシブ教育システム構築データベース) の検索方法

- ・ 教育関係者や一般国民に向けたインクルーシブ教育システム構築に関する理解啓発のため、関連する情報を提供
- ・ 「実践事例データベース」では、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて参考となる事例を掲載。

The screenshot shows the homepage of the Inclusive DB website. At the top, there is a header with the title 'インクルDB (インクルーシブ教育システム構築支援データベース)' and the logo of NISE (National Institute of Special Education). Below the header is a search bar with the text '検索はキーワードを入力してください。' and a search icon. A navigation menu contains several tabs: '実践事例データベース', '法令・通知等', 'Q&A', '研究報告・リンク', '交流及び共同学習実践事例集', and 'インクルDBを活用した研修例'. The main content area features a section titled 'インクルDBについて' with introductory text and links to '合理的配慮実践事例データベース', '相談コーナー', and '関連情報'. An image of a globe, a smartphone, and a chalkboard with 'Study' written on it is also visible.

<https://inclusive.nise.go.jp/>



「合理的配慮」実践事例データベース

実践事例データベース

実践事例データを9件 追加しました。

<実践事例データ 計 590件公開> (R3.12.27)

[【事例を閲覧・活用される際の留意事項】](#)

[【インクルD Bリーフレット\(カラー印刷\)】](#)

「実践事例データベース」をクリック

インクルDBを活用した研修例

インクルDBを活用した研修等を掲載しています。
ご参考にしてください。

交流及び共同学習実践事例集

心のバリアフリー学習推進会議の提言に基づき、交流及び共同学習についての事例を掲載しています。

相談コーナー

インクルーシブ教育システム構築の相談はこちらから
※教育委員会、各学校からの相談を受け付けております。

関連情報

法令・通知・用語等

法令・施策や関連用語の解説など

Q&A

インクルーシブ教育システム構築に関する保護者向けのQ&Aを設けました

研究報告・リンク

就学に関する情報、教材に関する情報など

学校における遠隔授業や動画配信 新型コロナウイルス感染症予防の取組

特別支援学校における遠隔授業や新型コロナウイルス感染症対策の取組例等を掲載しています。

「合理的配慮」実践事例データベース

実践事例データベースⅠ

<実践事例データ 計 512件 公開>

『[実践事例データベースⅠ](#)』は、文部科学省の委託事業

- 平成25～27年度「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」
- 平成30年度～令和2年度「発達障害の可能性のある児童生徒の多様な特性に応じた合理的配慮研究事業」において取り組まれた実践事例について詳細に掲載予定です。

[【実践事例データベースⅠの検索方法】](#)

今回は「[実践事例データベースⅠ](#)」をクリック

実践事例データベースⅡ

<実践事例データ 計 78件 公開>

『[実践事例データベースⅡ](#)』は、

- 平成25～27年度「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」において取り組まれた実践事例について、事例における合理的配慮や取組内容をA4版2枚程度に簡潔にまとめて掲載しています。

※実践事例データベースⅠとは内容が重複しておりません。

[【実践事例データベースⅡの検索方法】](#)

[【令和4年度インクルDBセミナー】](#)

※インクルDBの活用方法や活用例を紹介しています。

(外部サイトYoutubeにリンクしています)

検索はキーワードを入力してください。



キーワードで検索

- and or
 - 視覚障害 [19]
 - 聴覚障害 [42]
 - 知的障害 [142]
 - 肢体不自由 [56]
 - 病弱・身体虚弱 [26]
 - 言語障害 [31]
 - 自閉症 [173]
 - 情緒障害 [45]
 - 学習障害 [92]
 - 注意欠陥多動性障害 [97]
 - 全て選択/全て解除
- 該当 [159]
 - 非該当 [75]
- 幼稚園 [23]
 - 小学校 (通常の学級) [63]
 - 小学校 (通常の学級・通級による指導) [78]
 - 小学校 (特別支援学級) [119]
 - 中学校 (通常の学級) [57]
 - 中学校 (通常の学級・通級による指導) [41]
 - 中学校 (特別支援学級) [28]
 - 高等学校 [42]
 - 中等教育学校 [0]
 - 特別支援学校 (幼稚園) [1]
 - 特別支援学校 (小学部) [35]
 - 特別支援学校 (中学部) [15]
 - 特別支援学校 (高等部) [10]
- 年少 [5]
 - 年中 [4]
 - 年長 [15]
 - 小1 [40]
 - 小2 [59]
 - 小3 [60]
 - 小4 [53]
 - 小5 [37]
 - 小6 [46]
 - 中1 [49]
 - 中2 [46]
 - 中3 [46]
 - 高1 [15]
 - 高2 [19]
 - 高3 [18]

条件を指定して検索：
指定する条件にチェックを入れて検索

- 基礎① ネットワークの形成・連続性のある多様な学びの場の活用
 - 基礎② 専門性のある指導体制の確保
 - 基礎③ 個別的教育支援計画や個別の指導計画の作成等による指導
 - 基礎④ 教材の確保
 - 基礎⑤ 施設・設備の整備
 - 基礎⑥ 専門性のある教員、支援員等の人的配置
 - 基礎⑦ 個に応じた指導や学びの場の設定等による特別な指導
 - 基礎⑧ 交流及び共同学習の推進
 - 全て選択/全て解除
- 合理①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮
 - 合理①-1-2 学習内容の変更・調整
 - 合理①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮
 - 合理①-2-2 学習機会や体験の確保
 - 合理①-2-3 心理面・健康面の配慮
 - 合理②-1 専門性のある指導体制の整備
 - 合理②-2 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮
 - 合理②-3 災害時等の支援体制の整備
 - 合理③-1 校内環境のバリアフリー化
 - 合理③-2 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮
 - 合理③-3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮
 - 全て選択/全て解除

検索

* 今回の事例の例：「注意欠陥多動性障害」、「中学校（通常の学級）」、
27 「中2」をチェック、キーワードに「コミュニケーション」

ファイル

[R02_0011HS1-LD.pdf](#)

[ダウンロード](#)

ダウンロード数 : 245

【Ⅰ】対象児童生徒等の障害種

学習障害

【Ⅲ】対象児童生徒等の在籍状況等

高等学校

【Ⅳ】対象児童生徒等の学年

高1

検索キーワード

学習障害（LD）、識字障害、読字障害、書字障害、別室受験、拡大対応、読み上げ、代筆

概要が表示

概要（500文字程度）

B高等学校1年に在籍する、学習障害（読み書きに対する困難さ）の診断があるA生徒は、入学者選抜時に必要な合理的配慮の提供を受けて入学した。A生徒は、小学生の頃から読み書きにおいて困難さを感じており、授業中の音読や文字の表記が苦手であった。中学校進学後には、特に定期テスト等の際に困難さが顕著になったため、保護者を通して医療機関の受診につながった。主治医からは、現段階で読める程度を維持するようとのアドバイスを受け、家庭では自宅の壁に平仮名と片仮名の50音表を掲示するなどの配慮をしている。中学校では通常の学級に在籍しており、担任が困ったことはないが、その都度A生徒に確認しながら必要な支援を行ってきた。B高等学校でも中学校での支援の具体例を参考に、校内で協議、検討を続けながら、支援に取り組んでいる。A生徒は、B高等学校入学後に部活動にも所属し、学校生活を楽しむ様子が見られるようになった。しかし、担任との面談の中で、自分の困難さに対して特別な扱いはしてほしいという気持ちもあることが分かった。学校として支援体制を構築する中での新たな課題も出てきている。

ファイル名 : R02_0011HS1-LD

[詳細](#)

詳しく知りたい事例の「詳細」をクリック

検索はキーワードを入力してください。



トップページ 実例事例データベース 法令・通知 Q&A 研究報告・リンク 交流及び共同学習実践事例集 インクルDBを活用した実践例

トップページ / 実例事例データベース / 実例事例データベース1

ファイル

R02_0011HS1-LD.pdf  ダウンロード タウンロード数: 245

更新日

2021/10/15

【I】対象児童生徒等の障害種

学習障害

【II】対象児童生徒等の障害の程度（学校教育法施行令第22条の3）

-

障害名

-

【III】対象児童生徒等の在籍状況等

高等学校

【IV】対象児童生徒等の学年

高1

検索キーワード

学習障害（LD）、読み障害、読字障害、書き障害、別室受験、拡大対応、読み上げ、代筆

概要（500文字程度）

B高等学校1年に在籍する、学習障害（読み書きに対する困難さ）の診断があるA生徒は、入学選抜時に必要な合理的配慮の提供を受けて入学した。A生徒は、小学生の頃から読み書きにおいて困難さを感じており、授業中の高読や文字の表記が苦手であった。中学校進学後には、特に定期テスト等の際に困難さが顕著になったため、保護者を通して医療機関の受診につながった。主治医からは、現段階で読める程度を維持するようにとのアドバイスを受け、家庭では自宅の壁に半紙名と片仮名の50音表を掲示するなどの配慮をしている。中学校では通常の学級に在籍しており、担任が困ったことはないが、その都度A生徒に確認しながら必要な支援を行ってきた。B高等学校でも中学校での支援の具体例を参考に、校内で協議、検討を続けながら、支援に携わっている。A生徒は、B高等学校入学後に部活動にも所属し、学校生活を楽しく感じられるようになった。しかし、担任との面談の中で、自分の困難さに対して特別な扱いをしてほしくないという気持ちもあることが分かった。学校として支援体制を構築する中での新たな課題も出てきている。

ファイル名: R02_0011HS1-LD

さらに詳しく知りたい事例の「ダウンロード」をクリック

インクルDBで検索てみましょう

The screenshot shows the homepage of the Inclusive DB website. At the top left, the title 'インクルDB (インクルーシブ教育システム構築支援データベース)' is displayed. To the right, there are controls for text size (小, 標準, 大) and display color (標準, 1, 2). Below this is a search bar with the text '検索はキーワードを入力してください。' and a search icon. A navigation menu contains links for 'トップページ', '実践事例データベース', '法令・通知等', 'Q&A', '研究報告・リンク', '交流及び共同学習実践事例集', and 'インクルDBを活用した研修例'. The main content area is titled 'インクルDBについて' and contains introductory text and links to '『合理的配慮』実践事例データベース', '『相談コーナー』', and '『関連情報』'. An image of a globe, smartphone, and chalkboard with 'Study' written on it is also present. At the bottom, there are buttons for '『合理的配慮』実践事例データベース' and '関連情報'.



<https://inclusive.nise.go.jp/>



(5) 実践事例の例

概要

取組のキーワード

R01 0058JC3-AuAD

2019年度 発達障害の可能性のある児童生徒の多様な特性に応じた
合理的配慮研究事業
成果報告書(Ⅱ)

A生徒は、B中学校の通常の学級に在籍する3年生で、ADHDの診断を受けている生徒である。また、自閉スペクトラム症の疑いも指摘されている。学習についての大きな遅れはなく、特に配慮の必要はない。聴覚過敏や急な予定の変更への対応が苦手である。障害特性についての自己理解はできており、服薬の効果も実感できている。一方で、クラスや部活では、人間関係が上手くいかない困難を抱えている。A生徒は、明確な意志を強くはっきり相手に伝えるため誤解されやすい。特に、真面目であるので、A生徒自身が許せないと感じるとそこにこだわり、決めつけてしまい、他の生徒との関係修復も難しい。

また、保護者がA生徒への対応について困っている様子が見られ、精神的に不安定になりやすい。特に、進路について、保護者とA生徒の考えが異なることからトラブルとなったこともある。人間関係でA生徒が強いストレスを感じ、自傷行為や身体症状も併発して繰り返し、体調を崩し、投薬を受けることになった。

B中学校では、連携する支援専門機関(C教室)での月2回の個別支援を利用することを勧め、そこで、A生徒は、心理的な安定をめざした支援プログラムを受けたことで、安心して学習に取り組むことができるようになった。

ファイル名：R01 0058JC3-AuAD

1. 取組のキーワードについて

- 対象児童生徒等の障害種(下のいずれかに●を付すこと。重複障害の場合は、併せ有する障害に全てに●を付すこと。)
視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障害、
●自閉症、情緒障害、学習障害、●注意欠陥多動性障害
- 対象児童生徒等の障害の程度(学校教育法施行令第22条の3への該当の有無)(下のいずれかに●を付け、該当・非該当の障害名を()に記入すること。)
該当()、非該当()
- 対象児童生徒等の在籍状況等(下のいずれかに●を付すこと。)
小学校(通常の学級)、小学校(通常の学級・通級による指導)、
小学校(特別支援学級)、●中学校(通常の学級)、中学校(通常の学級・通級による指導)、
中学校(特別支援学級)、高等学校、中等教育学校、
特別支援学校(小学部)、特別支援学校(中学部)、
特別支援学校(高等部)
- 対象児童生徒等の学年(下のいずれかに●を付すこと。)
年少、年中、年長、1年生、2年生、●3年生、4年生、5年生、6年生
- キーワード(10個以内)
自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、ストレス、自傷行為、身体症状、
チームによる支援体制、進路選択

している。B中学校には、通級による指導がないため、連携するC教室において、通級による指導に準じる支援を行っている。

(2)【基礎2】専門性のある指導体制の確保

B中学校は、学級経営の重点目標としてインクルーシブ教育システムの推進をすえ、特別支援教育の知見を生かした学校構築の取組を行っている。校内委員会をはじめとして、連携するC教室からの専門的な指導・支援が随時可能である。また、独自の制度による発達支援アドバイザーによる定期的・随時の相談が可能である。C教室には特別支援教育を専門とするスタッフ、臨床心理士が常駐している。

(3)【基礎3】個別的教育支援計画や個別の指導計画の作成等による指導

B中学校では、発達支援アドバイザーの情報整理、作成のための助言を得て、支援が必要な生徒が在籍する学級担任が、個別的教育支援計画(個別的教育支援計画作成のためのアンケート、個人理解票、実態把握チェックリスト・プロフィール票、個別の指導計画)を作成している。

(4)【基礎4】教材の確保

B中学校では、支援を必要とする生徒の合理的配慮の実施に必要な教材である検カードや文字カード、タブレット教材等が使用可能である。また、個々の生徒に必要な教材については、連携するC教室からの貸し出しが可能である。

(5)【基礎5】施設・設備の整備

B中学校では、エレベーターが設置され、校内のバリアフリー化が図られている。また、校内には案内表示を多く設け、教室の位置を分かりやすく示している。

(6)【基礎6】専門性のある教員、支援員等の人的配置

B中学校には、スクールカウンセラーが配置されている。また、連携するC教室において、通級による指導に準じる支援を行っている。C教室には臨床心理士、特別支援学校教員経験者等の専門性のあるスタッフが常駐している。

(7)【基礎7】個に応じた指導や学びの場の設定等による特別な指導

支援を必要とする生徒は、連携するC教室において個別支援を行っている。

(8)【基礎8】交流及び共同学習の推進

B中学校では、地域の特別支援学校との交流及び共同学習の機会を持ち、行事等での積極的な交流を行っている。

4. 対象児童生徒等への合理的配慮の実践

(1)【合理①-1-1】学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮

進級によるクラス編成の際に、A生徒と良好なコミュニケーションをとることができる生徒を同クラスにするよう配慮した。また、A生徒が体調不良や、イライラしたり気持ちが落ち着かない時、集団参加の場面で疲労感を覚えた時は、保健室を利用し落ち着きを取りもどすまで静かに過ごせるように配慮をした。

A生徒に課題や質問を出す時には、同時に多くのことを提示しないで、ひとつずつ丁寧

基礎的環境整備と合理的配慮の実践

(7) データベースに記載している対象児童生徒等への合理的配慮の実際

○学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮

- ・相談に関しては、授業の担当者がすぐに個別で対応する
- ・特別支援教育支援員はさり気なく支援する

○学習内容の変更・調整

- ・問題は上から解くことにこだわるため、タイマーを使用して時間の見通しをもたせたり、奇数又は偶数番号のみ解答するようにする等の調整する
- ・集中力を持続させることが難しいため、書字カメラやスライド資料等のICT機器を活用して視覚支援する

(8) 実践事例データベースに記載している「対象児童生徒等への合理的配慮の実際」

○情報・コミュニケーション及び教材の配慮

- ・コミック会話の技法を使って人の気持ちを想像したり、自分の気持ちを表現したりできるような機会を設定する
- ・適切な声の大きさ等を視覚的に提示する

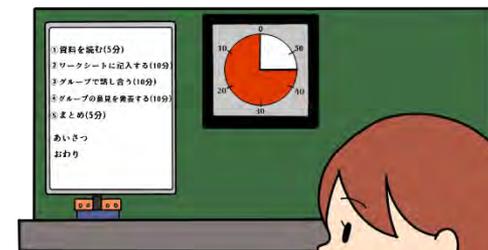
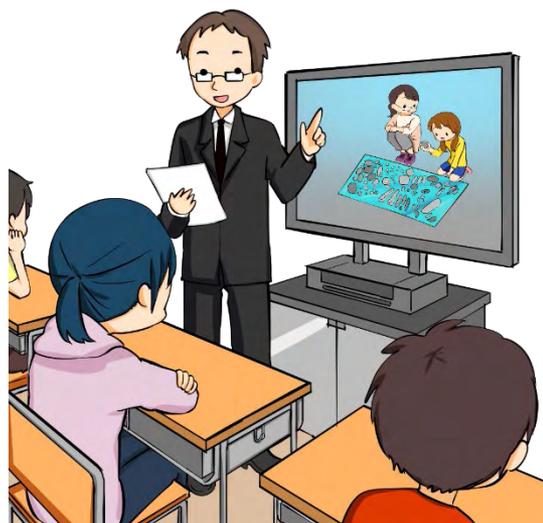
○学習機会や体験の確保

- ・50 分間の授業をユニット化し、各教科の授業においてグループ活動を積極的に行い、発表場面を多く設定することで、他の生徒から認められる経験を重ねる
- ・グループ活動では、リーダー的な生徒を各グループに配置する等、人数や机の配置を工夫する

実践事例データベースファイル名：R01 0028JC2-AuAD より抜粋

実践事例データベースを内容から学校の合理的配慮について確認したり、改善点を考えたりしてみましょう。

各学校で児童生徒の実態に合わせて 合理的配慮を行っていきましょう



実施した後は、児童生徒の様子や発言から
配慮を修正して行っていくことが大切です。

引用・参考文献

- ・ 国立特別支援教育総合研究所（2020）特別支援教育の基礎・基本2020 新学習指導用対応. ジェームス教育新社.
- ・ 中央教育審議会初等中等教育分科会（2012）共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のため特別支援教育の推進（報告）.

ぜひ多くの事例をダウンロードして、お役立てください。

The screenshot shows the homepage of the Inclusive DB website. At the top left, the title 'インクルDB (インクルーシブ教育システム構築支援データベース)' is displayed. To the right, there are controls for font size (小, 標準, 大) and display color (標準, 1, 2). Below this is a search bar with the text '検索はキーワードを入力してください。' and a magnifying glass icon. A navigation menu contains links for 'トップページ', '実践事例データベース', '法令・通知等', 'Q&A', '研究報告・リンク', '交流及び共同学習実践事例集', and 'インクルDBを活用した研修例'. The main content area features a section titled 'インクルDBについて' with introductory text and links to '『合理的配慮』実践事例データベース', '『相談コーナー』', and '『関連情報』'. An illustration of a globe, a smartphone, and a chalkboard with 'Study' written on it is positioned to the right of the text. At the bottom, there are two buttons: '『合理的配慮』実践事例データベース' and '関連情報'.

<https://inclusive.nise.go.jp/>

